

社会貢献活動

従業員が主体となり、各地域に役立つ社会貢献活動を考え、実践しています。

生物多様性への取り組み

当社グループでは生物多様性の保全に取り組んでいます。

これまで、経団連の生物多様性宣言に賛同し、推進パートナーズに参加し、生物多様性の保全に寄与するよう植樹、植栽に努めてきました。

また、田無製造所では敷地面積40,706m²の約30%を占める武蔵野の森を保存しています。40種類以上の樹木が4,500本以上あり、170本近くが西東京市の保存樹木に指定されています。また、森の一部を「発想の森」と名付け、一般開放しています。

過去の生物生息調査では、数多くの生物が訪れており、地域の生態系の拠点であると同時に学術的研究においても貴重な自然の財産であるとされています。

このような田無製造所の森の維持活動だけでなく、その他各地区の工場でも生物多様性の活動を進めています。例えば、構内の再整備に伴う緑地の拡大、グリーンカーテン活動（岡山製造所など）、花壇の整備（住友重機械精機販売株式会社）、屋上の緑地化（住友重機械モダン株式会社）、工場内の植栽活動（日本スピンドル製造株式会社）など、様々な生物多様性への取り組みに向けて積極的に活動しています。

当社グループでは、より一層生物多様性の保全に貢献するため、(国研)産業技術総合研究所が開発した日本版被害算定型影響評価手法、「LIME2」を活用して、当社グループの事業が与える生物多様性への定量的影響評価を実施しました。

その結果、当社グループでは木材の使用量を削減することが特に有効であることが分かり、製品梱包材の使用量削減に取り組んでいます。

具体的には、通い箱化による梱包材の繰り返し利用や、簡易梱包などに取り組んでいます。

半導体製造用イオン注入装置を製造する住友重機械イオンテクノロジー株式会社では、保守部品発送用のダンボール等の使用状況を分析することで再利用を進め、梱包材を削減しました。また、クーリングタワーや集じん装置を製造する日本スピンドル製造株式会社では、木材を使った木枠梱包の簡易化やラップ梱包への変更により、梱包材を削減しました。



田無製造所 本館



「発想の森」で熱心にどんぐりを集める園児の姿



住友重機械精機販売(株)北海道営業所のラベンダー



日本スピンドル製造(株)の植栽活動



住友重機械モダン(株)の屋上の緑地化



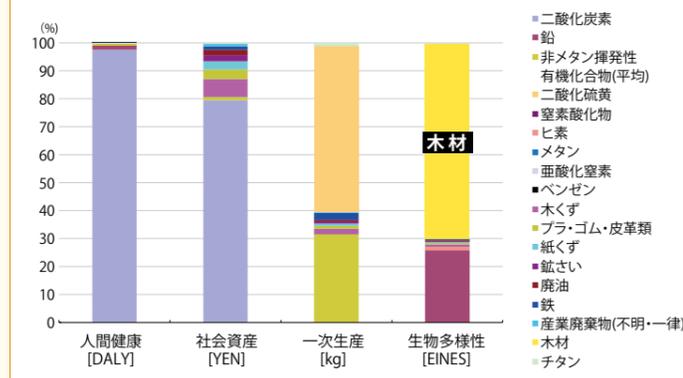
岡山製造所のグリーンカーテン

■ 梱包材の削減の例 住友重機械ギヤボックス(株)



評価項目は、植樹・植栽・グリーンカーテンの実施、用水使用量の削減、VOCの削減、埋め立て処分量の削減、再生可能エネルギー（電力）の利用等で、生物多様性の保全活動への全員参加を図っています。

■ 生物多様性への定量的影響評価



社会貢献活動

地元の行事に積極的に参加

当社グループは、地元の行事に積極的に参加しています。新居浜工場では地域の活性化を図る愛媛県「元気な集落づくり応援団マッチング事業」の一環で、「西条市大保木地区ふれあい運動会」に参加しました。ここ大保木地区は高齢者が多く、運動会は人手不足で困っていたため、地区からの要望もあり、2011年度から参加しています。

2015年度の運動会は曇り一つない晴天に恵まれ、地域の方々、他の企業からの参加者の方々、多くのボランティアの方とも交流ができ、大変楽しい有意義な一日となりました。

また、運動会の記事や写真は愛媛県のウェブサイトにも掲載されました。



玉入れ



綱引き



仮装行列

清掃活動

当社グループでは製造所周囲の清掃活動を定期的に行い、地域の自治体やボランティア団体主催の清掃活動にも参加しています。

2015年度も製造所周囲の清掃活動に加え、名古屋製造所は愛知県大府市が主宰する「アダプトプログラム^{*}」に、新居浜工場は新居浜市の「アダプトプログラム」に参加し、周囲の清掃活動に取り組んでいます。

名古屋製造所はこの「アダプトプログラム」に2004年度以来参加しており、2014年度は年6回、毎回30人ほどが参加し、2015年度は雨天の日もあって年4回となりましたが、やはり毎回約30人が参加するなど、継続的に活動しています。2016年度も同様に活動を続けています。

当社グループは今後も地域の環境美化に努めます。



清掃活動（新居浜工場）



^{*}アダプトプログラム：市内の公共施設、例えば公園や歩道などを自分で指定し市に登録します。指定した施設を気持ち良く利用できるように、ゴミを拾ったり樹木に水をあげたり、除草したりするボランティア活動を行います。

横須賀の中学生が環境活動を見学

神奈川県横須賀製造所では、CO₂排出量や廃棄物削減に取り組んでいます。また、環境活動の一環として、地域社会とのコミュニケーション活動も積極的に行っています。

2015年度は、2014年度と同様に、地元の中学生を横須賀製造所に招き、廃棄物をリサイクルするための分別状況、排水処理設備および水質監視システム、環境に配慮した製品を見学してもらい、住友重機械の環境への取り組みについて理解を深めてもらいました。

まず製造時の環境配慮として、排水処理場での自動測定装置を使ったモニタリングや、廃棄物ステーションでの分別状況を見学。分別は約80種類に細分化することでリサイクル率が向上していること、また定期的にパトロールを実施し、分別を徹底させることで、2011年度より廃棄物の再資源化率100%を継続していることなどを見学してもらいました。

また、環境に配慮した製品については、排水処理製品の試験を見学し、顕微鏡で汚水処理を担う微生物を観察。人と協働できるロボットや鍛造工場の見学、省エネ型アフラマックスタンカーの紹介および見学を実施してもらいました。

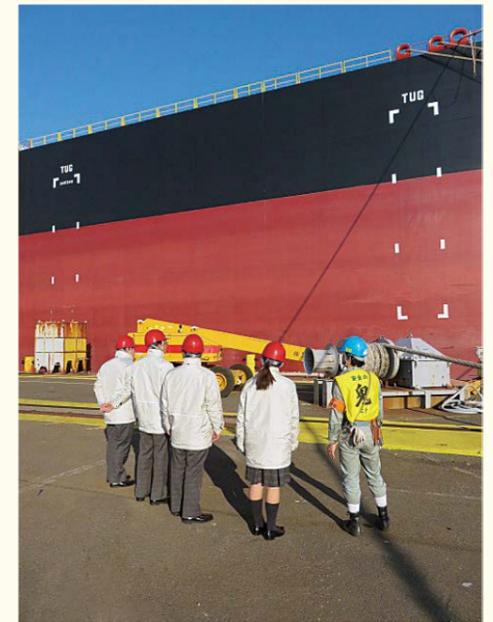
参加した皆さんからは、「製造所での環境配慮の大切さや難しさ、また、環境に貢献する製品などへの理解が深まった」、「排水処理の試験で、一瞬で濁った水がきれいになり、排水処理の大切さが理解できた」などの感想をいただきました。

小学生への環境教育

住友重機械エンバイロメント株式会社は、神奈川県南足柄市の環境展に2006年度より出展し、地元の小学生を中心に環境教育を実施しています。

2015年度の出展でも、排水処理を行う微生物の顕微鏡観察や水辺の生物の観察、市販のミネラルウォーターのカルシウム量の比較分析等、水に関する話題に親しんでもらい、きれいな川、汚れた川にすむ生物の観察や、両者の違いの説明を通じて、河川環境保全の大切さを伝えました。

今後も活動を続け、子供たちに環境保全の重要性を伝えていきます。



製造現場で環境活動を見学



微生物の顕微鏡観察